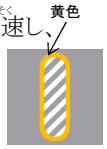
第1段階学科教習勉強用問題4

問題 1　白や黄色の杖を持った人やその通行に支障のある高齢者が通行している場合には、あらかじめその手前で減速し、これらの人との間に安全な間隔をあけて通行しなければならない。

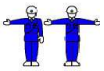


問題 2　この標示は、安全地帯であることを示している。

問題 3　普通免許を受けていれば、自動二輪車を運転することができる。

問題 4　交差点で右折をしようとする時は、先に交差点に入っていても、対向する直進車や左折車がある時は、その進行を妨げてはならない。

問題 5　道路は、多数の人や車が通行する所であるから、運転者が一人でも自分勝手に通行すると、交通が混乱したり交通事故の原因になる。



問題 6　このような警察官の手信号は、自動車に対するものであって、自転車や歩行者は従わなくてもよい。

問題 7　自動車を運転する場合は、標識や標示で示されている最高速度を超えて運転してはならない。

問題 8　同一方向に三つ以上の車両通行帯がある時は、最も右側の車両通行帯は追い越しのために空けておき、速度の遅い車が左側、速度が速くなるに連れ順次右側の車両通行帯を通行する。

問題 9　この標識は、時速50キロメートルを超える速度で追い越しするときは、はみ出してもよいことを表している。

問題 10　自転車の側を進行する時は、自転車との間に安全な間隔をあけるか、徐行するなどの注意が必要である。

問題 11　園児の乗り降りのために止まっている通学通園バスの側を通る時は、安全を確認すれば、速度を落とさなくてもよい。

問題 12　交差点を通行中、後方から緊急自動車が接近してきたのを知ったので、その場に直ちに停車して通過させた。

問題 13　運転免許証は、盗難や紛失に備えて自宅に保管し、免許証のコピーを携帯して運転した。

問題 14　後方から見て、このような手による合図は、進路を右方に変える時または、右折や転回の合図である。

問題 15　交差点とその手前から30メートル以内の場所では、優先道路を通行している場合を除き、他の自動車や原動機付自転車を追い越すため、進路を変えたり、その横を通り過ぎてはならない。

問題 16　信号には、時差式信号のような信号機があるので、横の信号が赤であっても、前方の信号が青であるとは限らないので、前方の信号を確かめて進行する。

問題 17　この標識は、「自転車横断帯」を表している。

問題 18　道路の曲がり角やカーブを走行する時は、車の内輪差のため、内側にいる歩行者や自転車などを巻き込む恐れがあるので、注意しなければならない。

問題 19　仮運転免許を受けた者が練習のため運転する時は、指導者を乗せなければならないが、その指導者が受けている免許の種類や経験年数に決まりはない。

問題 20　この標示のある交差点を右折する時は、矢印の部分を通行しなければならない。

問題 21　車に乗る前に、車の前後に人がいないかどうかを確かめれば、車の下まで確認する必要はない。

問題 22　警察官は、交通混雑の防止や危険防止のため、信号機の信号や標識・標示などと異なる通行の方法を指示することがある。

問題 23　踏切を通過する時は、踏切の直前（停止線がある時は、その直前）で一時停止をし、自分の目と耳で左右の安全を確かめなければならない。

問題 24　この標識がある道路は、一般原動機付自転車は通行することができる。

問題 25　オートマチック車を駐車する場合は、道路の状況に関係なくチェンジレバーは「P」の位置にするのが基本である。

問題 26　チャイルドシートを正しく使用することにより、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、子供が運転操作の支障となることを防止する。

問題 27　この標識がある場所で、交差道路を通行している車がなければ、徐行しないで進行することができる。

問題 28　前方の交通が混雑している時は、前方の信号が青の表示をしていても交差点内に進入してはならない。

問題 29　運転者が疲れている時は、危険を認知して判断するまでに時間がかかるので、空走距離は長くなる。

問題 30　自動車は、前の車が右折などのために、進路を変えようとしている時は、これを追い越してはならない。

問題 31　この赤色の灯火の点滅している信号に対面する車や路面電車は、停止位置で一時停止し、安全を確認して進むことができる。

問題 32　交差点で左折する時は、バックミラーで左後方を確かめれば、徐行までする必要はない。

問題 33　横断歩道を横断している人がいたが、自分の車が近づいたら立ち止まったので、そのまま通過した。

問題 34　この図で、Bの車両通行帯を通行する車は、Aの車両通行帯へ進路を変えることができる。

問題 35　片側が転落する恐れがある崖になっている道路で、安全に行き違うことができない時は、崖側の車が一時停止して進路を譲らなくてはならない。

問題 36　路線バスの専用通行帯は、一般原動機付自転車の通行はできない。

問題 37　工事などのため道路の左側部分だけでは通行するのに十分な幅がない時は、道路の中央から右の部分にはみ出して通行することができる。

問題 38　この標識と標示は、転回禁止を表している。

問題 39　車が左折する時の合図を行う場所は、左折しようとする地点から30メートル手前の地点に達した時である。

問題 40　クリープ現象とは、オートマチック車のチェンジレバーを「D」の位置に入れ、アクセルペダルを軽く踏んだ時に走り出す現象を言う。

問題 41　この信号に対面する車は、停止線を越えて、矢印の方向に進むことができる。

青色の矢印

問題 42　踏切では、なるべく早く通過するため、手早く変速し、高速ギアに入れて一気に通過する。

問題 43　路面電車を追い越す時は、その左側を通行しなければならない。

問題 44　空走距離とは、運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にきき始めるまでの間に車が走る距離をいう。

問題 45　この標識は、この先で行き止まりになっていることを表している。

問題 46　横断歩道や自転車横断帯に近づいた時、歩行者がいないことが明らかな場合でも、徐行して通行しなければならない。

問題 47　進路変更の時、後方から接近してくる車に急ブレーキや急ハンドルでさけさせるような方法で、進路を変えてはならない。

問題 48　道路に面した場所に出入りするために路側帯を横切る時は、歩行者がいないことが明らかであってもその直前で一時停止しなければならない。

問題 49　この標識や標示がある専用通行帯では、路線バス、小型特殊自動車、一般原動機付自転車、軽車両以外の車は通行することができない。

問題 50　ゆとりのある正しい運転姿勢は、ひじを水平に伸ばすとよい。

第1段階学科教習勉強用問題4　解答

問題	1	×	一時停止か徐行しなければならない	項目8-3
問題	2	×	立入禁止部分を示している	項目4-6
問題	3	×	運転することはできない	項目13-1
問題	4	○		項目6-1
問題	5	○		項目1-1
問題	6	×	従わなければならない	項目2-1
問題	7	○		項目7-1
問題	8	○		項目4-4
問題	9	×	時速50キロをこえてはならない。追い越しの為右側部分にはみ出してはならない	項目7-1 3-1 11-1
問題	10	○		項目8-2
問題	11	×	徐行しなければならない	項目8-3
問題	12	×	交差点をさけて一時停止	項目5-1
問題	13	×		項目13-1
問題	14	○		項目9-2
問題	15	○		項目11-1
問題	16	○		項目2-2
問題	17	○		項目3
問題	18	○		項目6-2
問題	19	×	免許の種類や経験年数に関係がある	項目13-1
問題	20	○		項目3
問題	21	×	確認した方がよい	項目9-3
問題	22	○		項目2-1
問題	23	○		項目6-4
問題	24	○		項目3
問題	25	○		項目14-1
問題	26	○		項目1-1
問題	27	×	徐行しなければならない	項目3 7-5
問題	28	○		項目4-8
問題	29	○		項目7-2
問題	30	○		項目9-1
問題	31	○		項目2-1
問題	32	×	徐行しなければならない	項目6-1

問題	33	×	一時停止しなければならない	項目8-1
問題	34	○		項目10-1
問題	35	○		項目12-2
問題	36	×	通行することができる	項目5-2
問題	37	○		項目4-2
問題	38	○		項目10-2
問題	39	○		項目8-2
問題	40	×	アクセルペダルを踏まなくても走り出す	項目14-2
問題	41	×	軽車両などは進むことができない	項目2-1
問題	42	×	変速しないで低速ギアのまま一気に通過する	項目6-4
問題	43	○		項目11-2
問題	44	○		項目7-2
問題	45	×	この先二方向交通になっている	項目3-1
問題	46	×	いないときは、そのまま進む	項目8-1
問題	47	○		項目10-1
問題	48	○		項目4-7
問題	49	○		項目5-2
問題	50	×	ひじがわずかに曲がるようにする	項目1-4